

# 青色申告を始めましょう！

- ・青色申告を行っている農業者を対象とした収入保険制度が始まります。
- ・青色申告は、自分の経営を客観的につかむための重要なツールです。青色申告には、**税制上のメリット**もありますので、**早速、取り組んでみましょう。**

青色申告を始めるには、まず何をすればいいの？



新たに青色申告を始めるためには、個人の場合、**3月15日までに、最寄りの税務署に「青色申告承認申請書」を提出**する必要があります。

この申請を行えば、その年分の所得から、青色申告を行うことができます(申告時期は翌年2～3月)。

## <青色申告承認申請書の様式>

## 青色申告とは

○「**正規の簿記**」と「**簡易な方式**」があります。

- ・正規の簿記は、複式簿記です。
- ・簡易な方式は、白色申告では求められていない現金出納帳等を整備する必要があります。

## 青色申告の主なメリット

- 青色申告特別控除  
「**正規の簿記**」の場合は**65万円**を、「**簡易な方式**」の場合は**10万円**を所得から控除可能です。
- 損失の繰越しと繰戻し  
**損失額を翌年以後3年間(法人は9年間)にわたって繰り越して**、各年分の所得から控除可能です。  
また、繰越しに代えて、**損失額を前年に繰り戻して**、前年分の所得税の還付を受けることも可能です。
- ※ 帳簿を付けることで、**自らの経営状況をつかみやすくなる**とともに、**金融機関からの信用を得やすい**といった経営上のメリットも出てきます。

## 収入保険加入・支払等スケジュール

(個人の場合のイメージ)

※加入申請する年を“当年”とした場合

当年	2月～3月	(前年収入)確定申告
	10月～11月	加入申請
	12月末まで	保険料等の納付 ※分割払も有

翌年	1月～12月	収入算定期間
	2月～3月	(当年収入)確定申告

翌々年	2月～3月	確定申告
	3月～6月	保険金等の請求・支払

※ 法人の場合、事業開始月の3ヶ月前から加入申請を行い、事業開始月の前月末までに保険料等を納付してもらうこととなります。

※ 新たに青色申告を始めた農業者は、青色申告を行なった年から収入保険の加入申請ができます。

## 収入保険に関するお問合せ先

最寄りの市町農業共済担当課・一部事務組合  
または、兵庫県農業共済組合連合会まで

[兵庫県農業共済組合連合会の連絡先]

企画普及部	TEL 078-332-7145
神戸出張所	TEL 078-332-7166
播丹出張所	TEL 0794-63-2213
西播出張所	TEL 0791-63-0285
但馬出張所	TEL 0796-42-4133
淡路出張所	TEL 0799-28-1653

※ホームページでは様々な情報を公開中

NOSAI兵庫

検索

# 収入保険が はじまりました！

・収入保険は、平成31年1月からスタートしました。

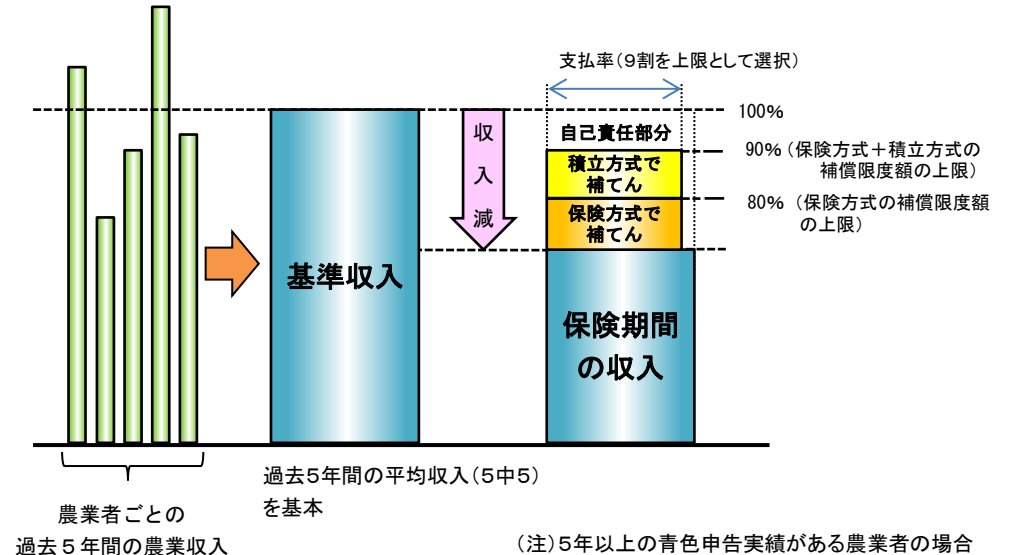
## 収入保険の具体的な仕組み

収入保険は、品目の枠にとられず、自然災害による収量減少だけでなく、価格低下なども含めた収入減少を補てんする仕組みです。

- **青色申告を行っている農業者（個人・法人）が対象です。**  
※ 5年以上の青色申告実績がある農業者が基本です。
- **農業者が自ら生産した農産物の販売収入全体が対象です。**  
※ 簡易な加工品（精米など）は含まれます。  
※ 一部の補助金（畑作物の直接支払交付金等の数量払）は含まれます。  
※ 肉用牛、肉用子牛、肉豚、鶏卵は、マルキン等の対象なので除きます。
- **保険期間の収入が基準収入の9割（5年以上の青色申告実績がある場合の補償限度額の上限）を下回った場合に、下回った額の9割（支払率）を上限として補てんします。**  
※ 基準収入は、農業者ごとの過去5年間の平均収入（5中5）を基本とし、規模拡大など保険期間の営農計画も考慮して設定します。  
※ 補償限度額及び支払率は複数の割合の中から選択できます。  
※ 「掛捨ての保険方式」に「掛捨てとまらない積立方式」も組み合わせるかどうかは選択できます。
- **農業者は、保険料・積立金を支払って加入します。（任意加入）**  
※ 保険料は掛捨てになります。なお、保険料率は、保険限度額の割合によって異なり、最高の補償限度額（80%）の場合は、1.08%（50%の国庫補助後）です。また自動車保険と同じように、保険金の受取実績に応じて、翌年の保険料率が変わります。  
※ 積立金は自分のお金であり、補てんに使われない限り、翌年に持ち越されます。75%の国庫補助があります。

※ 収入保険と、農業共済、ナラシ対策、野菜価格安定制度などの類似制度は、どちらかを選択して加入することになります。

## 収入保険の補てん方式



## 基準収入が1,000万円の農業者が、補償限度9割(保険8割+積立1割)、支払率9割を選択した場合の試算

### 農業者に用意いただくお金

保険料は、7.8万円  
(掛捨て)  
積立金は、22.5万円  
(掛捨てではない)  
合計 30.3万円

このほかに、下記の事務費が別途加算されます。  
加入1年目：2.2万円  
2年目以降：2.1万円

### 補てん金額

収入減少の程度 (保険期間の収入)	補てん金の合計	保険方式 (保険金)	積立方式 (特約補てん金)	補てん金を含めた 保険期間の収入 (対基準収入)
20%(800万円)	90万円	0万円	90万円	890万円(89%)
30%(700万円)	180万円	90万円	90万円	880万円(88%)
50%(500万円)	360万円	270万円	90万円	860万円(86%)
100%(0万円)	810万円	720万円	90万円	810万円(81%)

※ 「農業者にご用意いただくお金」は千円未満を四捨五入して表示しています。

なお、事務費は加入者割（1年目4,500円、2年目以降3,200円）と保険金額等割（1万円当たり22円）を合わせた金額です。